

2017年9月22日

報道関係各位

慶應義塾大学 SFC 研究所

第6回 データビジネス創造コンテスト 本選プレゼンテーション&表彰式 結果発表

～Digital Innovators Grand Prix 6 (DIG6)～

「スポーツ×アナリティクスによる未来創造」をテーマに、スポーツおよびスポーツ観戦にかかわるデータの分析を通じた、個人・団体・社会の活性化施策を提案

慶應義塾大学 SFC 研究所データビジネス創造・ラボ（所在地：神奈川県藤沢市、所長：飯盛 義徳、ラボ代表：村井 純 以下 慶應 SFC 研究所）は、SAS Institute Japan 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：堀田 徹哉、以下 SAS Japan）の協力のもと、2017年9月16日に開催された「第6回 データビジネス創造コンテスト ～Digital Innovators Grand Prix 6～（略称：DIG 6）」の結果を発表します。

本データビジネス創造コンテストは全国の高校から大学院に通う生徒・学生を対象として、「スポーツ×アナリティクスによる未来創造」をテーマに、スポーツおよびスポーツ観戦にかかわるデータの分析を通じた、個人・団体・社会の活性化施策の提案を競いました。

データはデータスタジアム株式会社より日本プロ野球およびJリーグ(J1)の試合ごとのデータ・選手パフォーマンスを、株式会社ビデオリサーチよりテレビ視聴データをご提供いただきました。また、分析ツールとして SAS Japan のソフトウェアを利用することも可能でした。

【第6回 データビジネス創造コンテスト 本選結果】

■最優秀賞：

チーム「バリスタブラック」(筑波大学)

テーマ：「ベイジアンネットワークに基づいた選手個人ファンクラブ型アプリの提案と分析」



■優秀賞：

チーム「TKZ4」（実践女子大学）

テーマ：「盛り上げよう！野球 女子たび応援ツアー！」



■審査員特別賞：

チーム「Statistical Analyzing Society」（慶應義塾大学）

テーマ：「『カープ女子』再現戦略 ～他球団の新規女性ファン獲得のための新提案～」



■未来創造賞：

チーム「NEXTreme」（桐蔭学園中等教育学校）

テーマ：「JAPAN CRICKET まったく新しいクリケットをここ日本で」



■SAS 賞

チーム「少年時代～Sho!Nen!JIDAI～」(東京工業大学、慶應義塾大学)

テーマ:「Jリーグクラブチームの集客戦略への提言」



■高校生部門賞

チーム「チームひよっこ」(長野県屋代高等学校)

テーマ:「『スポチャレ』でスポーツを身近に！」



■入賞チーム (ファイナリスト)

- ・ CIS (同志社大学)
- ・ チーム前処理 (立教大学)
- ・ Statistical Analyzing Society (慶應義塾大学)
- ・ バリスタブラック (筑波大学)
- ・ 佐藤50% (会津大学)
- ・ 02-03 (慶應義塾大学)
- ・ 少年時代～Sho!Nen!JIDAI～ (東京工業大学、慶應義塾大学)
- ・ STEMの王女さま! (慶應義塾大学、早稲田大学、津田塾大学)
- ・ チームひよっこ (長野県屋代高等学校)
- ・ TKZ4 (実践女子大学)
- ・ NEXTreme (桐蔭学園中等教育学校)

■結果の詳細は本コンテスト公式ホームページをご参照ください。

<http://dmc-lab.sfc.keio.ac.jp/dig6/>

■本コンテストに関するお問い合わせ

慶應義塾大学 SFC 研究所 データビジネス創造・ラボ事務局 e-mail : dig-info@sfc.keio.ac.jp

【慶應義塾大学SFC研究所 データビジネス創造・ラボについて <http://dmc-lab.sfc.keio.ac.jp/>】

データビジネス創造・ラボは、慶應義塾大学 SFC 研究所内に設置された、IT、統計、ビジネスデザインの融合方法を研究するグループです。データサイエンティスト育成カリキュラムの構築、ならびに先進的なビッグデータの集計・解析手法等の共同研究を行うとともに、2014 年からは、産官学協働のもとデータ分析によって導き出されるアイデアを競い合う「データビジネス創造コンテスト」を開催しています。第1回（2014年4月）は、「ソーシャルデータ」を用いた新たなサービスへの展開やその価値について、第2回（2014年9月）は、「オープンデータ」を用いた自治体の新たな政策や解決方法について、第3回（2015年9月）は「消費者の購買行動に関するデータ」を用いた新商品・新サービスの開発アイデアや新たなプロモーション施策について、第4回（2016年3月）は「データと創造力で、子育てに笑顔を！」をテーマに、自ら情報収集・分析し、少子化問題への理解を深めるとともに、データ分析から導きだされるビジネスアイデアの提案について、第5回（2017年3月）は「地方創生・地域活性化」をテーマに、急増する訪日外国人の動きを分析して、地域への誘客や消費を促進させる施策を行い競い合いました。

【慶應義塾大学 SFC 研究所について <https://www.kri.sfc.keio.ac.jp/>】

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科、大学院健康マネジメント研究科、総合政策学部、環境情報学部、看護医療学部の附属研究所である SFC 研究所は、21 世紀の先端研究をリードする研究拠点として、慶應義塾大学湘南藤沢 キャンパス (SFC) における教育・研究活動と、産官学および国内外のあらゆる関連活動との双方向の協調関係を育みながら諸科学協調の立場から先端的研究を行い、社会の発展に寄与することを目的としています。

※ 本ニュースリリースに掲載されている会社名・商品名は、それぞれ権利者の商標または登録商標です。

※ 本ニュースリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。

本件のお問合せ先

慶應義塾大学 SFC 研究所 データビジネス創造・ラボ事務局

Email: dig-info@sfc.keio.ac.jp

配信元

慶應義塾大学 湘南藤沢事務室 学術研究支援担当

kri-pr@sfc.keio.ac.jp

TEL: 0466-49-3436

FAX: 0466-49-3594